

A区分・B区分・C区分共通

No.1(実演芸術)

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
その他を選択した場合	

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ ようごうしゃ 株式会社 影向舎		
代表者職・氏名	代表取締役 小池岳士		
制作団体所在地	〒 243-0005 神奈川県厚木市松枝1丁目4番7号(小田急線・本厚木駅より徒歩10分)		
電話番号	046-297-0255	FAX番号	046-297-0256
ふりがな 公演団体名	めばえよせ まるまるてい めばえ寄席「○○亭」※○○は生徒さんの公募により決定。		
代表者職・氏名	代表取締役 小池岳士		
公演団体所在地	〒 243-0005 神奈川県厚木市松枝1丁目4番7号(小田急線・本厚木駅より徒歩10分)		
制作団体 設立年月	昭和60年3月		
制作団体組織	役職員 代表取締役 小池岳士 取締役 小池将直 他	団体構成員及び加入条件等 制作スタッフ:11名 舞台スタッフ:12名	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	吉川啓介
経理処理等の監査担当の有無	有	経理責任者名	小池弘美

制作団体沿革	<p>《社是:「人と芸をつなぐ」 社訓:誠意・信念・正義》</p> <p>学校公演において全国一位の公演数を有する製作者集団。昭和60年の創立以来、日々社是、社訓を見つめ直し“初めて鑑賞する人にどのように芸の魅力を伝えるか”このテーマを35年間に亘り追究、実施を繰り返し、今後も追い続ける。</p> <p>創立当初は落語、狂言の公演活動から始まり、その後お客様のニーズに応えるべく日本の芸能である講談、能、邦楽、また演劇、京劇、オーケストラなどジャンルを増やしてきた。どの芸能にしても単に出演者を右から左に動かすのではなく、企画制作から公演が終了するまでのトータルプランニングを行う。それぞれの舞台を充実させるため、社内では営業部・制作部・デザイン部・舞台部を機能的に編成。各部がひとつひとつの公演を成功させるべく、万全の状態でお客様をバックアップする体制を整えている。</p> <p>現在では、年間公演数が600を超える、学校公演では業界随一の実績を更新し続けつつ、他に教育委員会、公文協、老人ホーム、TV、ラジオ、ホテル、国際交流基金や大使館主催などによる海外公演（平成27年6月・イタリアローマのパラディウム劇場に、影向舎の能舞台を輸出し、舞台設営・監督業務を兼ねて、狂言公演を実施）など多方面で公演活動を行っている。</p>																						
学校等における公演実績	<p>平成23年度＝220公演、平成24年度＝240公演、平成25年度＝240公演、 平成26年度＝250公演、平成27年度＝250公演、平成28年度＝250公演、 平成29年度＝250公演、平成30年度＝250公演、令和元年度＝230公演 令和2年度＝160公演</p> <p>上記は弊社、学校公演の寄席(落語)鑑賞会の実績となります。 ※寄席(落語)分野(学校公演)では、NO.1。業界随一の実績を誇ります。 ※平成21年度～令和3年度「北海道巡回小劇場」に13年度連続で参加。</p>																						
特別支援学校における公演実績	<p>【めばえ寄席・公演実績】</p> <p>平成29年10月10日(火) 熊本県立天草支援学校にて公演。 令和2年10月15日(木) 札幌市立豊成養護学校にて公演。</p>																						
参考資料の有無	<table border="1" data-bbox="377 1455 1446 2034"> <tr> <td data-bbox="377 1455 509 1574" rowspan="4">A</td> <td data-bbox="509 1455 1013 1529">申請する演目のチラシパンフレット等</td> <td data-bbox="1013 1455 1446 1529">有</td> </tr> <tr> <td data-bbox="509 1529 1013 1603">申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</td> <td data-bbox="1013 1529 1446 1603">有</td> </tr> <tr> <td data-bbox="509 1603 1013 1677">※公開資料有の場合URL</td> <td data-bbox="1013 1603 1446 1677">https://youtu.be/f3U2FnJGcAs</td> </tr> <tr> <td data-bbox="509 1677 1013 1799" rowspan="2">※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード</td> <td data-bbox="1013 1677 1129 1709">ID:</td> <td data-bbox="1129 1677 1446 1709"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1013 1709 1129 1763">PW:</td> <td data-bbox="1129 1709 1446 1763"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="377 1799 509 2034" rowspan="3">Aの提出が困難な場合</td> <td data-bbox="509 1799 1013 1897">今回申請する演目に近い演目で公演の様子が わかる内容のDVDまたはWEB公開資料</td> <td data-bbox="1013 1799 1446 1897"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="509 1897 1013 1971">※公開資料有の場合URL</td> <td data-bbox="1013 1897 1446 1971"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="509 1971 1013 2034" rowspan="2">※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード</td> <td data-bbox="1013 1971 1129 2003">ID:</td> <td data-bbox="1129 1971 1446 2003"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1013 2003 1129 2034">PW:</td> <td data-bbox="1129 2003 1446 2034"></td> </tr> </table>	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/f3U2FnJGcAs	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード	ID:		PW:		Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子が わかる内容のDVDまたはWEB公開資料		※公開資料有の場合URL		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード	ID:		PW:	
A	申請する演目のチラシパンフレット等		有																				
	申請する演目のDVDまたはWEB公開資料		有																				
	※公開資料有の場合URL		https://youtu.be/f3U2FnJGcAs																				
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード	ID:																					
PW:																							
Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子が わかる内容のDVDまたはWEB公開資料																						
	※公開資料有の場合URL																						
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード	ID:																					
PW:																							

公演・ワークショップの内容

		【公演団体名 めばえ寄席「〇〇亭」※〇〇は生徒さんの公募により決定。】			
対象	○	小学生(低学年)	○	中学生	
	○	小学生(中学年)			
	○	小学生(高学年)			
企画名	めばえ寄席「〇〇亭」*〇〇は生徒さんの公募により決定。				
本公演演目	別添有り 別添「本公演演目」ご参照ください。				
原作/作曲 脚本 演出/振付					
著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	別添有り 別添「演目概要」ご参照ください。				
演目選択理由	<p>「芸人に上手も、下手も無かりけり。ただ行く先々の水に合わねば」</p> <p>芸人の間で昔から言われている言葉です。芸人は皆、その日のお客様に合わせて、喋り方、間などを調整して、いかにお客様に楽しんでもらえるかを考えております。</p> <p>落語の演目についても公演当日、マクラ※1を演じながらお客様の様子を見て、その場で決めます。そこで学校公演レギュラーメンバーたちが、豊富な経験と持ちネタを生かして、初めて落語に触れる生徒さんに最適な演目を選択します。</p> <p>※1 マクラとは、本題への導入部で、自己紹介をしたり、本題に入るための流れを作ったり、また本題でわざわざいくい言葉の説明をさりげなく入れたりします。</p>				
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p><ワークショップ> ※「ワークショップ項目」をご参照ください。</p> <p><公演までの間></p> <p>○作り方教室で学んだ「小漸」の作成。落語の元となる「小漸」を作ってみよう。 ☆作成していただいた小漸は公演前に送付していただき、優秀作品を選考します。こばなしグランプリで、代表生徒さん5、6名に小漸の発表をしていただきます。 ○「寄席文字」でビラ(ポスター)を作ってみよう。 ☆ワークショップ時に寄席文字書家が書き方のコツを伝授。実演を交えて書き方を教えます。その後本公演までに寄席文字チラシを生徒さんに作成していただきます。作成枚数は限定しません。学年・クラス毎などでまとめていただき、本公演当日に会場に貼りだします。</p> <p><本公演> ※「演目」「演目概要」をご参照ください。</p>				
出演者	<p>出演者:8~9名(真打ち落語家2名、色物2~3名、若手落語家1名、前座2名、三味線1名)</p> <p>【東京】落語芸術協会／落語協会所属 【大阪】上方落語協会 所属</p> <p>*学校公演で過去に成功実績を多く持つレギュラーメンバーで構成。</p> <p>*出演者は、色物の種類やご当地落語などのご希望や日程の関係で変更可能です。</p> <p>*コンビの色物が出演する場合、出演者の合計人数が9名となります。</p> <p>春風亭柳橋 →桂小文治、三遊亭圓雀、春風亭柳之助、柳家喬之助など</p> <p>桂文三 →露の団四郎、桂坊枝、林家染雀、林家染左、笑福亭畜若など</p> <p>三増紋之助 →鏡味正二郎<太神楽曲芸>、鏡味味千代<太神楽曲芸>、柳貴家雪之介<大神楽曲芸>、宮田陽・昇<漫才>など</p> <p>林家二楽 →上口龍生<マジック>、江戸家まねき猫<動物物まね>など</p> <p>春風亭柏枝 →柳家小太郎、柳家やなぎ、雷門音助、古今亭今いら、春風亭一花 など</p>				
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者: 8~9 名</p> <p>スタッフ: 4 名</p> <hr/> <p>合 計: 12~13 名</p>		機材等 運搬方法		<p>積載量: 1 t</p> <p>車 長: 5.31 m</p> <p>台 数: 1 台</p>

実施に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。									
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み	有	会場設営の所要時間		4	時間程度				
	前日仕込みは基本的に無しですが、午前公演をご希望の際は必要になります									
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出				
	8時30分	8時30分～12時30分	13時30分～15時05分	10分	15時05分～17時	17時				
	体育館フロアの階数や形状により、到着・仕込み時間の繰り上げ、また退出時間の繰り下げが発生する可能性があります。									
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ		制限無し							
	本公演		制限無し							
ワークショップ実施形態及び内容	別添有り 別添「WS実施形態及び内容」ご参照ください。									
ワークショップ実施形態の意図	【工夫】ワークショップと本公演の意図（性質）を変えました									
	「ワークショップ（体験）」→「公演日まで（創作）」→「本公演（鑑賞）」 と徐々に、多角度から『知る』工夫をしています。									
	ワークショップ（体験） 目的=『とことん学ぶ』→『知る（学び触れる）』									
	効果=①寄席芸能を知る ②寄席芸能の楽しさを知る ③寄席芸能のなるほどを知る ④寄席芸能の楽しみ方を知る									
	動画やイラストを多用し、実演を交えながら。ショーとして楽しみながらも学ぶ工夫がなされています。もちろん落語体験・寄席文字体験・クイズに参加など参加体験も豊富に盛り込まれています。									
	ワークショップを経て“寄席”への興味が芽生えます									
	↓									
	ワークショップから本公演まで（創作） 目的=『考える・作成する』→『知る（向き合う）』									
	効果=より理解を深める									
	ワークショップで学んだことを、じっくりと向き合い体験することで、より理解を深める。また本公演に期待がふくらみます。									
	↓									
	本公演（鑑賞） 目的=『とにかく楽しむ（鑑賞、体験）』→『知る（体感する）』									
	効果=①寄席芸能は楽しい！面白い！を知る ②子供たちの心に種を蒔く。こんなに楽しい（笑える）芸能が日本にあったんだ！ ③体験することにより、面白さを重ねて実感する ④みんなで何かを準備（共同作業）することを経験する。									
	第一線の出演者による熱演！本格的な寄席舞台。 「本物」をとことんお楽しみいただきます。 寄席芸能の笑い・迫力・凄み、その魅力を存分に体験していただきます！									

特別支援学校での実施における工夫点	実施校との事前の打合せの際に、実施上の注意点についてヒアリングを行います。その上で、出演者との内容調整、児童・生徒さんの体験参加内容の調整をします。実施校からのご希望に臨機応変に対応します。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

リンク先

No.2

【公演団体名 めばえ寄席「〇〇亭」※〇〇は生徒さんの公募により決定。】

寄席

落語を中心に様々な演芸が演じられる場所のこと。「よせ」と読みます。元々は「寄せ場」「人寄せ場」などと呼ばれていました。江戸中期・寛政年間（18世紀末）に誕生し、幕末には江戸市中に数百件を数えましたが、現在は、東京と大阪などに「定席」（常設の寄席）が、年中ほぼ休みなく営業しています。寄席で演じられるのは落語だけではなく、講談、浪曲、曲芸、紙切り、手品、漫才、コントなど、バラエティーに富んだ番組（プログラム）になっています。前座（若手）の落語から始まり、紙切りや漫才などの色物と呼ばれる演芸と、二ツ目（中堅）の落語がテンポよく進んでいき、最後に真打ち（ベテラン）が登場します。

本公演演目

めばえ寄席 「〇〇亭」

最後まで飽きることなく「たのしい」と思える寄席体験を！

工夫と特徴

① あなたの学校のオリジナル落語会！

「めばえ寄席 〇〇亭」はみんなで作る落語会。
タイトル「〇〇」の中はみなさんからの公募によって決定します。

② 劇場をみんなでつくろう！

学校ごとにつくるオリジナルの寄席（劇場）。ワークショップで習った寄席文字でチラシを作成。作成したチラシは、のぼりや看板と共に会場を彩り、雰囲気を盛り上げます。



③ 児童、生徒が裏方に！寄席の運営に参加

当日は各担当に別れ、劇場を作り、運営をする色々な仕事をスタッフと一緒に行います。
どんな班があるのでしょうか・・・

【前座班】 ※参考目安人数2名～4名

前座さんがする仕事を体験
※太鼓の演奏がある為、出来るだけ高学年でお願いします
○一番太鼓を叩く《お客様（児童、生徒）の体育館入場時》



【おはやし班】 ※参考目安人数3名～5名

舞台を盛り上げる、お囃子演奏を体験
○開演時の出囃子を、プロと一緒に三味線、太鼓で演奏



【会場班】 ※参考目安人数2名～20名

よせ 寄席の客席を賑やかにする
○会場内の飾り付け（のぼりの飾りつけ、ポスター貼り）
○入場時のお客さん（児童、生徒）のお出迎えや、近隣の方のご来場の際の手作りチケットの“もぎり”や客席へのご案内
○開演前の諸注意のアナウンス



【舞台班】 ※参考目安人数2名～8名

ステージを作る裏方の仕事を体験
○高座の設営のお手伝い（のれん、めくり、座布団の設置）
○大喜利コーナーのセッティングのお手伝い



リンク先

No.2

【公演団体名】めばえ寄席「〇〇亭」※〇〇は生徒さんの公募により決定。】

<p>本公演演目</p>	<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  ④ 展示・体験コーナーで公演時間外もお楽しみ </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 公演の前／後／休憩中 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0; margin-bottom: 10px;"> <p>【寄席体験市】実際に体験して分かる、楽しさ、難しさ</p> <p>◎ミニ高座、落語体験ブース</p> <p>誰でも体験できるよう、ミニ高座と手ぬぐい・扇子を設置。 自由に高座に上がって、ワークショップで教わった落語の仕草にチャレンジ。</p> <p>仕草の見本として、晰家のお手本動画を再生いたします。 また併設するパネルには数種類の代表的な仕草のイラストを展示。 『扇子を箸に見立ててそばを食べる仕草』 『手ぬぐいを本に見立てて、本を読む仕草』などに挑戦してみよう。 若手落語家が立ち会いますので、仕草のアドバイスをいたします。</p> <div style="float: right; margin-top: -100px;">  </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0; margin-bottom: 10px;"> <p>◎下座音楽ブース</p> <p>下座音楽で仕様する楽器を用意します。自由に触れて、弾いて、叩いて、吹いてみてください。思ったよりも難しいことが分かります。</p> <div style="float: right; margin-top: -100px;">  </div> <div style="text-align: right; margin-top: -100px;"> <small>三味線3丁、太鼓3張、笛5本を用意します。</small> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0; margin-bottom: 10px;"> <p>【寄席展示コーナー】普段見ることができない寄席の裏側・手ぬぐいの展示</p> <p>◎寄席（新宿末広亭）の紹介写真展</p> <p>現存するなかでは最も古い木造建築の寄席「新宿末広亭」。 新宿末広亭ご協力のもと、めばえ寄席の為に撮りおろした写真を展示。 その入り口から楽屋まで解説文を交えてご紹介します。 通常見ることのできない、舞台の裏側や楽屋を覗いてみよう。</p> <div style="float: right; margin-top: -100px;">  </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0; margin-bottom: 10px;"> <p>◎晰家手ぬぐい展</p> <p>落語家さんの手ぬぐいを展示。 個人によって、様々な趣向（柄や絵）が凝らされていて観ているだけでも面白いものです。</p> <div style="float: right; margin-top: -100px;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  ⑤ 雰囲気たっぷりの本格的な寄席舞台を設営 </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center; width: 45%;">  <p>子供達を見る気に、出演者をやる気にさせる、本格的な寄席舞台を体育館に設営。 音響は落語用に特別チューニングされたマイク、スピーカー等を使用。 また、持ち込みの照明で舞台を照らします。</p> </div> <div style="text-align: center; width: 45%;">   </div> </div>
--------------	--

リンク先 No.2

【公演団体名 めばえ寄席「○○亭」※○○は生徒さんの公募により決定。】

<p>江戸落語と上方落語</p> <p>東京を中心に発展した江戸落語は商家や武家の座敷に呼ばれて演じるという「座敷噺」の形で発達したため、じっくりと聴かせる噺が多く、大阪など関西圏を中心発展した上方落語は盛り場の辻で、行き交う人を呼び止めて演じた「辻噺」を起源とするため、にぎやかな噺が中心になります。上方落語は演出も派手で、演者の前に見台や膝隠しなどの道具を置き、小拍子を叩きながら演じることもあります。</p>	<p>⑥ 「めばえ寄席」プログラムの3つの要素</p> <p>一. 【江戸落語と上方落語】 落語には江戸（東京）落語と上方（大阪）落語があります。言い回し、雰囲気など、特色が異なる落語を組み合わせることにより、プログラムに変化を与え、楽しんでいただくことができます。</p> <p>二. 【色物が2題】 子供達に人気の色物2題を構成。それぞれ違うタイプの演目で構成し、最後まで飽きずに鑑賞していただることができます。 ※色物とは寄席において落語と講談以外の芸を指します。寄席の看板で、落語、講談の演目は黒文字で書かれていたのに対して、それ以外は色文字（主として朱色）で書かれていたのが、この言葉の起源といわれています。 ※諸説有ります。</p> <p>三. 【スピーディーなプログラム展開】 プログラムの一つ一つの時間を短く設定しておりますので、内容が次から次へと変わっていき、最後まで飽きずに鑑賞することができます。</p> <p>四. 【体験要素～大喜利コーナー～】 おおぎり 休憩の後に子供達に参加していただく余興を構成。「大喜利」方式の「こばなしグランプリ」。ワークショップで作成のコツを伝授いたしますので、本公演までの間に作品を作り、お送りください。春風亭柳橋を委員長とした審査委員が5作品を選出いたします。エントリー（選出）されたお子さんは羽織を着て、落語家さながらに舞台上で作成をしたこばなしの発表をしてもらいます。</p>
<p>本公演演目</p> <p>色物</p> <p>寄席で演じられる落語や講談、浪曲以外の芸能の総称。落語のような伝統芸とは一線を画し、それぞれが独自の得意芸をあみ出す「一人一芸」の要素が強く、分かりやすく肩の張らない芸の数々は、寄席興行には欠かせない存在です。「落語や講談と区別するため、出番表に赤字で記した」「番組の彩りになるから」などが語源と言われる。※諸説あります</p>	<p>⑦ 経験や実施校からのご意見に基づく改善ポイント</p> <p>我々影向舎は、寄席関係の青少年向け公演事業において業界No.1の実績を誇ります。年間250ステージを超える高等学校向けの「学校寄席」や、平成26年より述べ143回実施をしてきた小中学校対象の「めばえ寄席」で培ってきた経験や知識に基づき、実施校のご希望や状況に合わせて、1公演毎できる限りの改善に努め、プログラム内容を充実させてまいりました。 令和4年度においても、公演後に学校様からお聞きしたご意見や、現場での経験を加味し、下記4つのポイントの改善を行っていきます。</p> <p>① 体験・参加要素は割愛することができます。（事前アンケートを実施いたします）</p> <p>「めばえ寄席」はより効果的な芸術体験を目的に、様々な体験・参加要素を盛り込んでおりますが、学校毎に時間的余裕の有無や、鑑賞会への取り組みの温度差がありました。</p> <p>そこで・・・ → それぞれの事情を考慮し、体験・参加要素は割愛することが可能です。 ご希望を反映する為、事前に参加の有無についてのアンケートを実施いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポスター やこばなしなどの事前の作成物や、本公演当日の班参加などは割愛可能です。 • 本公演当日の展示・体験コーナーの観覧タイミングはいつでも可能です。 その為、開演前の入場開始時間や、プログラム途中の休憩時間、終演後の時間は通常設定時間より長くすることができます。 逆に展示や体験などを全く行わずに割愛することも可能です。 <p>② 各校に合わせた柔軟な番組構成をいたします。</p> <p>ワークショップ・本公演共に、基本的な進行内容が有りますが、人数が20名と500名の学校で舞台設定や参加人数などを全く同じ内容で行うと、無理が生じることが分かりました。</p> <p>そこで・・・ → 実施校の希望を取り入れつつも、プログラムの趣旨を崩さずに柔軟な番組構成をいたします。</p> <p>③ 小・中学校でアプローチを変えました。</p> <p>参加いただく班の仕事内容について、小学生と中学生また、小学校低学年と高学年ではできることや、やっていて楽しく感じる内容が違うことが分かりました。</p> <p>そこで・・・ → より意義のある参加内容とする為、その経験を踏まえ、小・中学校でアプローチを変えました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>【会場班】小学生：にぎやかに大きな声でお出迎えなど／中学生：お客様の席への誘導など</p> <p>【舞台班】小学生：高座の座布団の配置など／中学生：より本格的なお手伝い</p> <p>【おはやし班】小学校低学年、高学年、中学生、三昧線経験者などの条件によって、難易度を変える</p> </div> <p>④ 公演までの道しるべ「手引書」を充実させていきます。</p> <p>学校側で行う準備、打合せや公演までの段取りが事前に分かるようにして欲しいという声を受け、実施校へ公演までの手引書をお配りしております。フィードバックシートでは“分かりやすかった”などの評価をいただいておりますが、今後もご担当の先生にとっての道しるべとして、より充実したものになるよう、内容をブラッシュアップし続けていきます。</p>

リンク先

No.2

【公演団体名 めばえ寄席「〇〇亭」※〇〇は生徒さんの公募により決定。】

Point!

⑧ 企画内容について

平成30年度から令和元年度にかけて、新たに『おはやし班』という参加要素を加え、実施をしております。普段触る機会の無い三味線や太鼓に聴すことなく、また邦楽器経験者の子供たちは殊更堂々と、演奏を行うことができました。参加した児童・生徒はもちろん、学校の先生方からの反応も好評で、今後も継続をいたしました。おはやし班を数年実施して気付いたこととして、学年や経験の有無で対応できる内容が大きく違うことが分かりました。今まででは演奏する曲（出囃子）は1つの曲を固定しておりましたが、今後はこどもたちにより高い充実感を感じてもらう為、学校毎の状況により、演奏する曲を変えて行ってまいります。

平成26年度の初参加より早7年。「めばえ寄席」は希望調書に記載している通り、参加内容や鑑賞内容の密度の濃さ、また事前の準備から当日の運営にかけてのスムーズさなど、学校向けの寄席プログラムとして理想的な形に仕上がってきました。

今後もより一層楽しんでいただけるように、またその楽しみの中で、『寄席演芸』という日本の芸能の素晴らしさを発見してもらえるよう、私たちはこの番組を更に充実したものにしていきます。

そこで令和4年度にかけては令和3年度に続き、プログラムをより良いものにする為、前年度内容を踏襲しながらも、一つ一つの精度を上げることに努めます。

『めばえ寄席』企画内容改善の履歴	
平成26年度	巡回公演事業参加スタート
平成27年度	展示・体験コーナーを開設
平成28年度	展示・体験コーナーの充実 (楽器を触れる「下座音楽ブース」を追加)
平成29年度	会場入口にプログラム看板を設置 小学校・中学校での体験レベルの変更
平成30年度	手引書など学校配布資料の充実
令和元年度	「おはやし班」を新設
令和2年度～3年度	本公演での落語演目（ネタ）の工夫 WS内容の見直し

NEW!

本公演演目

リンク先

No.2

【公演団体名 めばえ寄席「〇〇亭」※〇〇は生徒さんの公募により決定。】

演目概要



めばえ寄席 〇〇亭

本公演

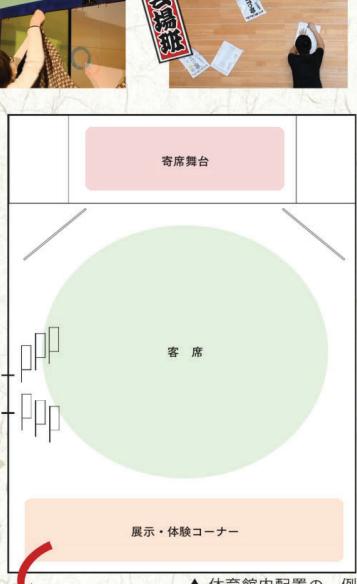
プログラム

出演者：8～9名 [落語家5名（江戸・上方・若手・前座2名）、色物2～3名※、三味線1名]
※色物出演者、内容により変動
時 間：95分《公演時間は児童・生徒さんの状況を見て調整します》

【仕込み】

「〇〇亭」劇場作り

みんなで体育館を“寄席”にしよう！
高座を作ったり、ポスターを貼ったり、
のぼりを飾ったり・・・
見慣れた体育館がどんどん、どんどん、
劇場になるワクワク感。
さあ、寄席の出来上がり！

▲ 体育館内配置の一例

開演までにぎやかし

展示・体験コーナーで寄席の世界を120%楽しもう！
体育館に寄席の展示・体験ができるエリアを設置いたします。

【展示】

- 老舗寄席「新宿末広亭」の写真を展示
- 手ぬぐいを展示

【体験】

- ミニ高座を設置、児童・生徒さんのなりきり落語家体験
- 下座楽器（三味線、太鼓、笛）を自由に触れる楽器体験コーナー

いつもの体育館が別世界。ワクワクドキドキの寄席空間が出現




リンク先

No.2

【公演団体名】めばえ寄席「〇〇亭」※〇〇は生徒さんの公募により決定。】

演目概要

【開場前】

開場準備（打合せ・お稽古）

会場班はお客様のお迎えについて、大喜利コーナー出演者は出演内容についての打合せ。前座班とおはやし班はワークショップの時に練習したことのおさらい（お稽古）をします。



【開場】

お客様を元気一杯お出迎え！

さあ寄席の開場です。

入口には寄席の番組表さながらの看板がお出迎え。係のみんなでハッピーポスターを着て、にぎやかにお客様をご案内しましょう。舞台上では入場の合図「一番太鼓」を叩いてもらいます。みんなが入場をしたらよいよ開演！まずは〇〇亭の席亭である校長先生よりご挨拶をいただきましょう。



【開演】「〇〇亭」

いよいよ開演です！

開口一番

1. 落語（若手落語家）春風亭 柏枝など（10分）

ようこそ寄席へ。まずはごくごく短い噺を

はじめての寄席体験。スタートが肝心。わかりやすい落語をひとつ。

おはやし班の児童・生徒さんには、
公演開始のこのタイミングで出囃子演奏に参加してもいただきます



2. 色物 林家 二楽《紙切り》など（15分）

リクエストを受けてその場で切り上げる、
紙の芸術品

生徒さんの感想文で「感心した」「すごい」との声が一番多いのが
この紙切り。

ゆとり

3. 上方落語 桂 文三など（15分）

起源が辻噺（大道芸）、江戸落語と
ひと味違う賑やかな上方落語でお楽しみ

演目「刻うどん」「動物園」など。



リンク先

No.2

【公演団体名】めばえ寄席「○○亭」※○○は生徒さんの公募により決定。】

<p>演目概要</p>	<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  <h2>お仲入り (休憩) <10分></h2> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>【休憩中】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f9f9f9;"> <p style="color: green; font-weight: bold;">休憩中も体験・参加！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○休憩中も展示や下座楽器をお楽しみください。 ○舞台班の児童・生徒さんには、その後の大喜利コーナーのステージ準備をお手伝いいただきます。 </div> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>【後半スタート】 児童・生徒 参加 体験</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>4. 大喜利 ~こばなしグランプリ (or しぐさ体験コーナー) ~ <15分></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="flex: 1;"> <p style="color: orange; font-weight: bold;">お友達が落語家に！？大喜利スタイルで ずらりと並び発表会</p> <p>それぞれの感性で創作してもらった作品の中から優秀作を6つ厳選。 優秀作に選ばれた児童・生徒さんが発表します。果たして結果はいかに？</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">※時間などの関係で事前的小噺作成が難しい場合、しぐさ体験コーナーに変更することが可能です。</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: right;">  </div> </div> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">色とりどりの羽織をつけてステージに出演！</p>  </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>5. 色物 三増紋之助《曲ごま》など <15分></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="flex: 1;"> <p style="color: orange; font-weight: bold;">刀の刃や、長い棒の上で迴るこま。 ハラハラ、楽しい</p> <p>こまを縦横無尽に操る江戸曲ごま。見ていると幸せになる、底抜けに明るい芸風が魅力。</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: right;">  </div> </div> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>6. 落語 春風亭柳橋 など <15分></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="flex: 1;"> <p style="color: orange; font-weight: bold;">いよいよトリです。看板真打ちによる 江戸古典落語でお楽しみ</p> <p>演目「お菊の皿」「たぬき」など。</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: right;">  </div> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="font-size: small;">※トリの演者の落語のネタ（演目）は、子どもたちがその後進学した際に、芸術鑑賞会などで落語を聞く機会が有っても良いように、学校公演で演じられやすいポピュラーなネタは逆に避けるように心がけております。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>※1 出演者は色物の種類やご当地落語などのご希望や日程の関係で変更可能です。 ※2 出演者はすべて、弊社の学校公演での経験と実績のある芸人で構成されています。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>
-------------	---

リンク先

No.3

【公演団体名 めばえ寄席「〇〇亭」※〇〇は生徒さんの公募により決定。】

めばえ寄席「〇〇亭」

ワークショップ

出演者 4 名 [落語家 2 名 (ニッ目・前座)、寄席囃子三味線奏者 1 名、寄席文字書家 (橘流) 1 名]
時間: 45 ~ 90 分 {授業時間、児童・生徒さんの状況により調整いたします}

知って、感じて、やってみる

「解説」、「体験」、「創作」をキーワードに構成。
全ては寄席をより楽しんでもらうために。

- 解説: 寄席や落語から始まり、江戸の暮らしまで
- 体験: 落語のしぐさや、寄席文字の書き方
- 創作: 小ばなしや寄席文字を用いたポスター作成のコツを伝授

※プロジェクター（映像）を使用いたしますので、視覚的にも分かりやすい

ワークショップ実施形態及び内容

“みんなで作る「めばえ寄席」”

1. 公演タイトル (〇〇亭) を決めよう

公演タイトルは、3~5 個の候補の中からみなさんの拍手の大きさで決定。
御校だけの特別な落語会タイトルを決定いたします。

【ワークショップ】ワークショップの様子。
タイトルは地名や名産品、学校の特徴などを基に、予め候補を出していただきます。

↓

決定したタイトルの下で準備を進めていき、本公演当日に反映されていきます。

【本公演】
本公演当日、決定したタイトルが実際に形になった様子。
ポスターは見本の寄席文字を基にして、本公演までの間に生徒さんが作成。

Point (工夫)

プロの寄席文字書家が書いたタイトルののぼりを影向舎が作成し、公演当日に持参いたします。

リンク先

No.3

【公演団体名 めばえ寄席「○○亭」※○○は生徒さんの公募により決定。】

■ まずは落語の世界を覗いてみよう

2. 落語を一席『寿限無 じゅげむ』など

分かり易い落語でお笑いを一つ。

落語を聞いた後は、落語の楽しみ方を知る

3. 落語鑑賞ポイント～落語のあれこれ～

一人で何役も演じ、扇子と手ぬぐいを様々なものに見立てて、演じる側とお客様（児童・生徒）それぞれが、想像しながら作り出す芸能“落語”。ここでは落語の特徴的なポイントについて解説します。ここを押さえれば落語がぐっと近づく。

左向いて「こんちわ！」
演一人で何役も

右向いて「おやおや、よく来たね」

1 落語の原点『小噺（落とし噺）』実演と作り方教室

こばなし
小 噺
（・一人で何人の登場人物を演じ分ける。
・必ず噺の最後にオチが有る。）
長くなった
のが落語

Point (創作)

本公演に向けての宿題、小ばなしを作ってみよう。その為の小ばなし作成のコツを伝授する、小ばなし作り方教室を開催。
⇒本公演当日の「大喜利コーナー」で優秀作品5作の作者には舞台上で発表してもらいます。

小ばなしの作り方のコツ
小ばなし創り方教室
本公演
大喜利コーナーに向けて

結果の部分であるオチを先に考えると作りやすいでしょう。
【オチの作り方】1つの言葉に複数の意味をもたせる。
例「このおかしやさん、繁盛しているんだって」「けいき（景気／ケーキ）が良いもんね」

過去の子供たちの作品の一部ご紹介します ※実際に応募いただいた作品から抜粋

- 「ミミズとヘビどっちが好き？」 「ミミズ！ミミズにはめがないんだ。」
- 「大人だけでボートにのると、どうなるの？」 「きっと子がない（漕がない）から、進まないね。」
- 親「明日、台風だって。」 子「台風はいいなあ、進路が決まっていて。」
- 「まだ5月だというのに各地で夏日並みの暑さだね。梅雨をこえて一気に夏って感じだよ。」「まるで置きっぱなしで忘れたカップラーメンのようだね。」「どういうこと？」 「ツユがみあたらない。」

リンク先

No.3

【公演団体名 めばえ寄席「〇〇亭」※〇〇は生徒さんの公募により決定。】

<p>ワークショップ実施形態及び内容</p>	<p>2 落語のしぐさ『扇子・手ぬぐいの使い方』実演・体験</p> <p>扇子と手ぬぐいという限られた小道具を「お箸」や「筆」、「帳面（ノート）」や「おいも」など様々ななものに見立てて表現します。</p> <p>Point (体験)</p> <p>扇子、手ぬぐいを各1,000セット用意。 持ち込みます。 ⇒全員一緒に落語の仕草（そばを食べる仕草など）体験。 体育館中に響き渡る「そばをする音」は圧巻。</p> <p>全員体験</p> <p>手ぬぐい × 1,000 扇子 セット を利用する</p> <p>全員一緒に体験できる！</p> <p>落語のホーム、寄席。老舗の寄席を覗いてみよう</p> <p>4. 動画『ようこそ寄席へ 老舗寄席・末広亭をご案内』</p> <p>影响舎が新宿末広亭ご協力のもと、オリジナルで作成した特別動画</p> <p>工夫point</p> <p>古き良き寄席の雰囲気を残す末広亭で オリジナル動画を作成いたしました。</p> <p>寄席って何？どんなところで何をしている？ 普段見ることのできない裏側をナビゲート。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客席、舞台（高座）、楽屋の様子 ・前座さんのお仕事 ・下座音楽（太鼓、三味線）など
------------------------	--

リンク先

No.3

【公演団体名 めばえ寄席「〇〇亭」※〇〇は生徒さんの公募により決定。】

下座（げざ）音楽

お囃子の三味線や太鼓など、寄席のBGM全般の総称。三味線・太鼓・笛・鉦(かね)などで構成されています。内容は演者が登場する際の入場BGM「出囃子」はもちろん、開場時や終演時に叩かれる、「一番太鼓」「二番太鼓」「追い出し太鼓」や、落語の噺の中で、噺の情景などを表し、盛り上げる「ハメモノ」、太神楽や紙切りの演目中のBGMなど、多岐にわたります。

ワークショップ実施形態及び内容

寄席を構成する上で大事な要素。プログラムの軸となる存在

5. 色物のおはなし

色物の代表的な芸種の高座の様子を動画で見ていただきます



動きや見た目で楽しい芸。色物の解説。本公演出演者のご紹介。



寄席を盛り上げるBGM、下座音楽をご紹介

6. 下座音楽のあれこれ【解説・実演】

寄席ではかかすことのできない下座音楽の解説。



前座班、おはやし班になった代表の児童・生徒さんには公演終了後、本公演に向けて、太鼓や三味線のレクチャーをいたします。



クイズを楽しみながら、江戸時代を知ってもらう

7. お江戸クイズコーナー～江戸時代へタイムスリップ～

プロジェクターを使用（影向舎オリジナルイラスト）



工夫point



1両は今のお金でいくら？



江戸時代の時間の感覚について



当時の職業（商い）について

落語の噺の主な舞台である江戸時代。その時代の人はどんな暮らしをしていたのか？
また、江戸時代では、どんな職業があったのか？
お金や時間の噺をクイズを交え、お話をいたします。



リンク先

No.3

【公演団体名 めばえ寄席「〇〇亭」※〇〇は生徒さんの公募により決定。】

読みづらい？寄席の世界の独特的な“寄席文字”的秘密

8. 寄席文字を書いてみよう！【解説&実演】

寄席の世界で使われている寄席文字の書き方をお教えします。
文字の特徴や込められた意味を、書いている様子をライブカメラで投影しながら説明します。

Point (工夫)

書いているところを
カメラで撮ります
→
カメラで撮った内容を
リアルタイムで
スクリーンへ映します

Point (創作)

ワークショップの時間の関係により、全員参加（パターン①）、
代表者が参加（パターン②）を選択できます。

《パターン①》全員参加 ※ワークショップ公演時間+20分
全児童・生徒さんにご参加いただく、寄席文字教室。
普通の書道と異なる、特徴のある書き方に挑戦してみよう。
○準備するもの：半紙・書道セット

《パターン②》代表児童・生徒 ※ワークショップ公演時間内
5名程度の代表の児童・生徒さんに寄席文字の書き方にチャレンジしていただきます。
○書道セットなどはこちらでご用意いたします。

Point (体験)

ワークショップ終了後

プロがしっかりと教えます（おはやし班・前座班参加者対象）

公演後】三味線と太鼓のレクチャー

前座班・おはやし班に参加の児童・生徒さんにはワークショップ
終了後に、一番太鼓の叩き方やお囃子の演奏のレクチャーをいたします。

本公演までの間の宿題 ワークショップで覚えたことをふまえて

※ご参加は自由です。授業などの関係でご参加が困難な場合はご相談ください。全てに参加されなくても、一つだけの参加も可能です。

Point (創作)

○小ばなしの作成
作成いただいた作品の中から、優秀作を選定いたします。優秀作に選ばれた6名の方には、本公演プログラム「大喜利コーナー」で発表をしてもらいます。

○ポスターの作成
作成いただいたポスターは、公演当日、会場班の児童・生徒さんに、飾り付けてもらいます。

Point (体験)

○一番太鼓・お囃子の練習【前座班・おはやし班】
レクチャーを受けた内容を、本公演に向けて練習をしてもらいます。しっかりと練習をして、公演当日は元気よく演奏をしましょう。

れいわ ねんど
令和3年度
ぶんかげいじゅつ
文化芸術による子供育成総合事業
じゅんかいこうえんじぎょう

— 巡回公演事業 —

落語の鑑賞

らく こ かん しょう



らくご 落語は決して難しい芸能ではありません。今までの「落語」は分かりにくい、
ふるくさ 古臭い」という先入観を全て捨てて、十分にお楽しみください。また落語は
らくごか ひとり 落語家一人が様々な登場人物を演じ、様々な場面をお客様に想像していただく、
いわばお客様とのコミュニケーションで作り上げる「笑い」の芸です。肩ひじ
は 張らずに、世界最高の話芸「落語」をたっぷりとご堪能ください。

せ 常客

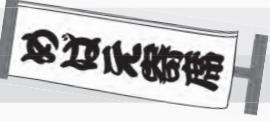
制作：影向舎

ぶんかげいじゅつ じゅんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業 — 巡回公演事業 —

我が国の一級の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた
舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、
将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、
できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

めはぞ客席

プログラム



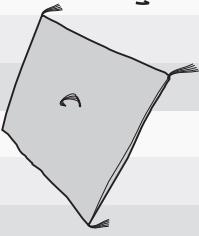
オチのある噺「落とし噺」から生まれた。

はなし
う

落語とは、庶民の生活や、お伽などをして語るもので、噺の結末にオチがつくのが特徴です。東京（江戸）で発達した江戸落語と、大阪・京都の関西圏（上方）を中心に発達した上方落語があります。

えんげい センモン オコ
演芸が専門に行なわれている劇場。

落語に興味があつたら、ぜひ高席に落語を聴きに行きましょう。でも、高席で演じられるのは落語だけではありません。落語、漫談、音曲、手品、曲芸など、バラエティーに富んだ番組（プログラム）になっているのです。前座（若手）の落語から始まり、漫才や手品などの芸能と、二ツ目（中堅）の落語がテンボく進んでいき、最後に真打ち（ヘテラン）が登場します。寄席といいう小さな演芸場の中では、お客様の笑いやかけ声が絶えず聞こえ、どこかなく非日常的な、江戸時代にタイムスリップしたかのような時間が流れています。



1. 落語

まずは著手のイキイキとした落語を！

2. 色物

色物とは寄席で行なわれる、落語以外の演芸！

3. 上方落語

にぎやかな開西圏を中心に発達した上方落語でお楽しみ！

江戸落語

三遊亭圓雀 春風亭柳橋



上方落語

林家 淳雀

笑福亭喬若

桂文三



4. おゆ入り（体験）

～これはばしラッシュブリ（体験コーナー）～
それその懸念性で作成した作品の中から優秀作を厳選。
作成した生徒さんが発表します。結果はいかに？

5. 色物

書簡の看板は落語は黒、その赤文字で出張書きを書いていたため
色物と呼ばれる。さてどんな芸人が場れるかお楽しみ!!

6. 落語

いよいよトリです。看板真打たちによる古典落語を披露！！

上方落語はお家の外で行われる大道芸から発達したので、みんなの注意をひきつける為にとても軽やかに實じられます。そして江戸落語はお家の大道芸で演じられてきたので、じっくりと聞く、粹な雰囲気。違いを楽しめます。

* プログラム内「3.上方落語」「6.落語」では上記出演者の中から各1名ずつ出します。

* プログラムは変更の可能性があります。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E71	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	めばえ寄席「〇〇亭」				制作団体名		株式会社	影向舎	

① 会場条件等についての確認

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.3m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否			不要	
横づけができない場合の搬入可能距離	なるべく短いことが望ましいですが、距離が長くても対応可能です			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

